

学校長 式 辞

ここ、青山の地も爽やかな風につつまれ、学校周辺の木々が一斉に春の装いをこらし、命あるものすべてが勢いよく活動を開始しようとする今日のよき日、三木市教育長 大北由美様、加村友多育友会長様、並びに多くの保護者の皆様のご臨席のもと、兵庫県立三木北高等学校第40回入学式をかくも盛大に挙行できますことは、本校にとってこの上ない喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました121名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。本校の教職員、在校生をあげて皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、本校は昭和五十八年に、校訓である「立志」「自学」「自律」「共生」の理念を基軸に知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指す学校として創立されました。人と環境の三木北高校として2012年にはユネスコスクールの認定を受け、高校としていち早くSDGsに取り組む学校として地域と共に歩んできました。この伝統ある三木北高校に、皆さんをお迎えするにあたり、2つお話ししたいと思います。

1つ目は、三木北高校は今年度入学した新入生の皆さんにも少人数クラス編成できめの細かい指導を行うとすることです。本校は今年度創立40周年を迎える伝統校です。かつては40人11クラス規模のマンモス校であった本校も、残念ながら昨年度から定員120名、3クラス規模に縮小することになりました。そこで兵庫の高校としていち早く、少人数クラス編成に踏み切ることにしました。新入生の皆さんを40人ずつ3クラスではなく30人ずつ4クラスに分けることで、担任や授業担当者は一人一人の生徒に、より目が行き届き、丁寧で細やかな教育活動が実現できることとなります。新入生の皆さんにはこのメリットを生かし、早く高校生活に慣れ、将来を見据えた充実した高校生活のスタートを切ってほしいと思います。

2つ目はビジョンをもってもらいたいということです。私は、新入生には必ず「ビジョンを持つ」ことを提案してきました。ビジョンとは将来あるべき姿を描いたもの、将来の見通し、構想、未来像のことです。皆さんは中学校を卒業したばかりで、将来の見通しなどまだまだ先のことのように思っているかもしれません。

しかし、目標の無いところに成果はありません。小さなものでも何でも良いのです。目標を立てましょう!!もちろん勉強は大切ですが、部活動でもボランティア活動でも、何でも良いのです。自分が活動する中で「こんな風になりたい」「これができるようになりたい」というビジョンをもって生活すれば毎日が充実するばかりではなく、受け身ではなく主体的に取り組むことによる成果は大きくなるはずで、また、目標を実現するための小さな目標を立てることも忘れないようにお願いします。つまり、大きな夢に向かっていくための計画と実践と反省の繰り返しこそがビジョンを持った生活と言えらると思います。

長くなりましたが新入生の皆さんにはこの場では語り尽くせない思いが、私や先生方にはあります。今日から毎日、その思いを三木北での高校生活で伝えていきたいと思っています。

続きまして保護者の皆様をお願いを申し上げます。本日から大切なお子さまをお預かりいたします。教職員一同、全力を尽くして誠心誠意お子さまの教育に取り組んで参る所存です。しかし、保護者の皆様のご理解とご協力なくして大きな成果は望めません。学校・家庭・地域が一体となってお子さまの成長を応援していけますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが公務ご多用の中、ご臨席を賜りました大北三木市教育長様はじめ、多くの来賓の皆様方には、重ねてお礼申し上げますと共に、今後とも本校教育発展のために尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。式辞といたします。

令和四年四月八日

兵庫県立三木北高等学校長

田中 良季